

令和元年度 土木部長の目標宣言

部長メッセージ		土木部長 古尾谷 栄一
<p>新東名高速道路の「伊勢原大山インターチェンジ」の開通による交通利便性の向上が図られる中、「住み続けたい快適で魅力あるまち」を目標に、誰もが安全で円滑に移動できるよう、歩道やグリーンベルト整備による「安全な交通環境の整備」を進めるとともに、都市計画道路田中笠窪線の整備や、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、緊急輸送路等に位置付けられた橋りょう、並びに経年劣化等により対策を優先すべき橋りょうの修繕・耐震化を計画的に進めます。</p>		
部等の主な役割		部等を構成する課等
<ul style="list-style-type: none"> ・道路法の規定に基づく適正な管理 市道の認定、境界、財産管理、占用工事等の許認可 ・道路及び橋りょうに関すること 計画策定、整備、維持管理 		土木総務課 道路整備課

部等の取組方針	
1	<p>【狭あい道路の整備を推進します】</p> <p>狭あい道路の拡幅整備を図るため、建築行為における道路後退用地の取得に係る測量、分筆費用及び工作物の撤去費用の一部を助成するとともに、後退用地の整備を進めます。</p>
2	<p>【道路施設の老朽化対策を推進します】</p> <p>道路環境の向上及び交通安全の確保を図るため、老朽化が著しい路線の舗装の打ち換えを進めます。また、橋りょうの適正な管理、予防保全の観点から修繕・耐震化を計画的に進めます。</p>
3	<p>【都市計画道路の整備を推進します】</p> <p>地域間の交通利便性の向上を図るため、都市計画道路田中笠窪線の整備を進めます。</p>
4	<p>【安全な歩行空間の整備を推進します】</p> <p>通学路点検結果や地元要望などに基づき、安全で安心して通行できる歩行空間の整備(歩道設置、歩車共存道路整備)を進めます。</p>

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度実績見込値	令和元年度目標値	令和2年度目標値	所管課
33-101	安全な歩行空間整備事業	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	3,670m (平成28年度)	6,683m	8,340m	9,880m	道路整備課
34-101	都市計画道路田中笠窪線整備事業	事業の進捗率	44.3% (平成28年度)	63.9%	82.9%	90.2%	道路整備課
35-101	橋りょう長寿命化対策事業	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	7橋 (平成28年度)	10橋	13橋	16橋	道路整備課

※各年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。